

令和三年度

福岡女子大学 第七十一回、第七十二回合同入学式
及び大学院 第二十八回、第二十九回合同入学式

式辞

向井学長の式辞は、皆さんが知的向上心と感性に感動する人間となるにはどうすべきか、という問いでした。Diversity (多様性) ということは、物知りになることも重要ですが、他と交流することによって、自分が知らないことを知るといふ感動もあります。「未知の知」の感動、すなわち、知らないことに対して知る感動は、自分を改善して、より知的な人間になることを意味します。

Diversity-Innovation というサイクルの創造です。向井学長流にいうと、自分を向上させようというギルド集団の一員となるためには、集団での向上能力を持つことが不可欠です。1、2年生の皆さんには、その必要性を理解し、進化し、真理を探究することが、社会から強く求められています。

1、2年生の皆さんに、福岡女子大学 (福女大) で学ぶことがいかに素晴らしいかお話ししましょう。

福女大では、他の大学がほとんど行っていない、例のない「福女大ユニーク」を、数多く教育に活用しています。全寮制生活での English Time、月曜日の English Day、アルバイト禁止や、外国人留学生と共に暮らす日常生活があります。さらにベトナム、タイの超一流の高校との、入試合格を前提とした連携交流があります。教育では、福女大美術館を使った感性教育、教員と学生が何を教え、何を学びたいか、授業スタート前に徹底討論を行い、合意した後に授業を開始する、さらに、授業中の緊張感を増すため、授業の復習の習慣をつけるために、抜き打ちテスト（クイズ）を多く実施し、授業理解度の深化を図ります。海外留学する学生が約75%おり、留学しない学生25%のための English Village の開設、Language-cafe、学生の大学運営・経営への参加、クオーター制も2018年より、大学一斉にスタートしています。大学では、勉強の「場」は提供しますが、答えは自分自身で見出すことであり、大学は、自分自身で学び、勉強するところでもあります。また、役員と上位教員の女性比率は、2020年で40%以上です。教職員・学生の向上心により、タイムズ（THE）高等教育世界大学ランキング日本版で福

女大は、766の大学中、ここ数年は50位以内で、73ある女子大では2位を保っています。皆さんは、そのように非常に質の高い大学で勉強することができ、ことに誇りと感動を持ってください。感動は、自らの向上心の証です。皆さんは、教職員と一体となり、日本一の女子大学を目指して下さい。日本一となる仕掛けは、既に整っています。大学は、アルバイトをしながら、楽に単位が取れる場所ではありません。継続した努力と向上心を持てる社会人となるように、頑張ってください。皆さんに、このことをお願いして、私の入学式の式辞とします。

もう一度言います。大学は、勉強して、自分を今以上に輝かせる場所です。私が小学校の卒業式の時、にいただいた、「人並の努力は、人並みに終わる」とことを意識して、大学生活を送ってください。

令和三年四月三日

公立大学法人福岡女子大学

前理事長・学長 梶山 千里